



やつくり

多治見市立南姫中学校

学校報 NO. 12

令和8年1月30日

<http://school.city.tajimi.lg.jp/mhime/>

1月21日（水）、今年度最後の授業公開・学級懇談会でした。多くの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。今年度は、生徒たちが創る授業を観ていただこうと、生徒発信の「授業公開」としました。授業後に保護者さんから、「問題がわからない友達にできた子が教えてあげる姿が見られました。（中略）できたらみんなで喜び、一体感が見られました。」など、嬉しい感想をいただきました。ありがとうございました。



新たなスタートを切るために ～自立と自律～

校長 後藤 佐恵子



最近の昼休み、3年生の生徒たちは、面接練習や受験勉強、仲間と一緒に外で体を動かすなど、進路実現に向けて取り組んだり南姫中での思い出づくりをしたりと、それぞれに活動しています。

進路実現に向けた取組の中で、3年生の生徒たちに伝えていることは、「高校合格がゴールではない」ということです。高校合格は大きな成果ですが、それは新たな3年間にに向けて立つ“スタートライン”なのです。

本校の卒業生で、卒業後に保護者のもとを離れて寮生活や一人暮らしを始めた生徒がいます。また、高校年代に、1年間の海外留学を選択した生徒もいます。

そこで、生徒たちに「中学を卒業したら一人暮らしができる？」と尋ねると、「無理～」と多くの生徒が答えました。

本校を卒業する時の姿として、キーワードは「大人になる ～自立と自律～」

学校報No.3（令和7年6月号）でもお伝えしましたが、

「自立」とは、他者に頼らず、自分の力で物事を成し遂げること（ひとり立ち）

「自律」とは、自分の規範やルールに従って、自らの行動をコントロールすること

目の前の多くの生徒たちは、自立していると感じる面がある反面、お家の人や周りの人に「精神面で依存」していると感じる面もあります。

生徒たちは期待や不安をもちながらスタートラインに立つでしょう。そんな生徒たちに、自信をもって新しい環境への一歩を踏み出してほしい。そのために、卒業までに、一人で歩いていける「自立と自律」の力を付けていくことが、大人の役割でもあると思っています。生徒の成長に寄り添いながら、学校・家庭・地域が丸となって、生徒たちをサポートしていけたらと思っています。よろしくお願いします。



1/21 学校評議員会が開かれました

学校評議員さんに、授業を参観いただき、その後、生徒たちの様子や学校アンケート結果等から、ご意見をいただきました。

- ・全体的に授業に集中している。
- ・仲間の職業についての話を、生き生きと聞いていた。
- ・仲間の話を真剣に聞くことができ、しっかりとした話ができる。

- ・町づくりへのボランティアに多くの生徒が参加し、元気に活動してくれている。
- ・上下関係がなく、学年の壁がない感じがする。
- ・将来のことを考えられることが立派。目標をもつことは大切である。
- ・体育祭での姿が、とても素晴らしかった。

学校評議員の皆さん・地域の方々が、生徒たちをととても温かく見守ってくださっていることを改めて感じ、嬉しい時間になりました。今後とも南姫中学校をよろしくお願いします。



南姫中 HP